



桜ヶ丘町

ごとうしの
後藤 紫乃ちゃん(11カ月)

小さい体ですくすく育ってくれてありがとう。これからもずっとパパとママの宝物です。



東大道町

こじまあらた
小島 新大くん(7カ月)

新しいことにチャレンジする大きい心のある子になりますように。新大くん大好き♡



東栄町

かなやすず
金谷 翠純ちゃん(6カ月)

すずちゃん生まれてきてくれてありがとう! たくさん笑って元気に大きくなってね♡

お子さんの
 写真を掲載
 しませんか?

対象者 市内在住で掲載時に小学校入学前のお子さん(きょうだいでの応募可)
応募方法 市役所広報広聴課へ写真を添付の上、メール(kouhou@city.owariasahi.lg.jp)で次の①~③を連絡。メールのタイトルは「スラスラこんにちは」としてください
 お子さんの ①氏名・ふりがな ②生年月日 ③性別
 保護者の ④氏名⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧コメント(40字程度)

応募用二次元コード



柴田市長コラム



所変われば健康も..

新年を迎え、誰もが関心のある「健康」について考えてみたいと思います。

ご存じのとおり、本市は平成16年に世界保健機関(WHO)の理念に賛同し、健康都市連合の設立メンバーとして加盟が承認され、健康都市宣言を行いました。翌17年には日本支部が設立され、本市は「尾張旭市健康都市プログラム」を策定し、以来、人もまちも元気にするためのさまざまな施策に取り組んできました。

そして昨年11月、ヨーロッパの健康都市市長団の視察を受け入れました。午前中は名古屋市内で、WHO欧州地域事務局のほか、フィンランドやギリシャなど6カ国の市長さんらに尾張旭の取り組みをプレゼンテーションし、午後には全員、バスでスカイワードあさひに移動、あいにくの雨で城山公園の視察は断念しま

したが、展望室や歴史民族フロアを熱心に見ていただきました。

先方のプレゼンで興味深かったのは、フランスのレンヌ市の発表です。日本の健康都市では、大半の取り組みが健康寿命を延ばすなど、高齢者向けなのですが、フランスでは国を挙げて「超加工食品(いわゆるジャンクフード?)」の追放に取り組んでいるそうです。

対象を高齢者に絞り込むのではなく、子どもなど若年世代からの底上げで、広く国民全体の健康を守ろうとする取り組みで、彼らの感性が「健康=長寿」と捉える日本とは大きく異なっていることに、ハタと気付いたわけです。

健康についても、固定観念・先入観というものはあるのですね。心と体の調和、愛情、食育、医療、教養、スポーツ・運動、文化・芸術、芸能・趣味などなど、健康への道筋は奥深く多様なのです。



健康都市市長団の視察の様子